

■密着性の良否の検査方法

防じんマスク本来の性能を十分に発揮させるためには、密着性が良好でなければなりません。フィットチェッカー等を用いて、次の手順で着用者自身で密着性の良否の検査を行い、密着性が良好なことを確認したうえで使用してください。



- フィットチェッカー〔別売〕にか
ぶせるように取り付けます。
- フィットチェッカーを取り付けた
マスクを作業時と同様に装着しま
す。
- マスクを顔面に押しつけないよう
に、フィットチェッカーのゴム管
を指でつまんでふさぎます。
- ゆっくりと息を吸い、接顔体と顔面との接顔部分から空気が流入しないことを確認します。
もし、流入を感じたら、マスクの着用状態を直し、再び3を実施して空気がマスク内に流入しないことを確認してください。
着用状態を直しても空気の流入を感じようでしたら、パッキン、吸・排気弁等が確実についているかを確認してください。
※フィットチェッカーを使用しない場合
手のひらでろ過材の吸気口をふさいで、上記4を行ってください。
この時、マスクを顔に押しつけないように軽くあてます。
強く押あてるとマスクが変形して、正しい判定ができなくなることがあります。
ただし、防毒マスクの場合は、必ずフィットチェッカーを用いて密着性の良否の検査を行ってください。

 警告	1.使用前に密着性の良否の検査を、必ず実施してください。 2.密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止してマスクの着用状態を直してください。それでも密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検してください。 (「点検内容及び不具合の処置」参照) 3.不具合の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼してください。
--	---

■部品の交換方法

《排気弁》

- しめひも取付具の下側を持って、手前に引き上げて取り外します。
- 排気弁をつまんで外します。
- 新しい排気弁を、排気弁座の突起に取り付けます。
- 排気弁の中心部の突起を持って軽く押しながらくるくる回します。
くるくる回れば正しく付いています。
- しめひも取付具を下記の手順で取り付けます。
 - 上部の穴に接顔体の突起をはめ込みます。
 - 下部を「パチン」と音がするまで押し付けます。
 - 取り付け後は、テープがスムーズに動くか確認してください。



 注意	排気弁を交換する時は、排気弁座を傷付けないように注意してください。 排気弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。
--	--

《吸気弁》

- 吸気弁をつまんで外します。
- 新しい吸気弁を、吸気弁座の突起に取り付けます。
※正しく付いていることを必ず確認してください。

《しめひも》

本品のしめひもは、しめひも取付具を含んでいます。
しめひもの取り付け、取り外しは、**■部品の交換方法《排気弁》**を参照してください。

《パッキン》

- ピンセット等を使用してパッキンを外します。
- 新しいパッキンをもとどおりに、吸気弁座に取り付けます。
(除菌用のアルコールをパッキンに塗布すると容易に取り付けられます。)

 注意	パッキンを外す時は、ケガをしないように注意してください。 また、パッキンを交換する時は、吸気弁座を傷付けないように注意してください。 吸気弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。
--	---

■手入れの方法

 注意	必ず、ろ過材（又は吸収缶）を外して実施してください。
--	--

- ろ過材（又は吸収缶）を取り外し、接顔体、吸気弁、排気弁、排気弁座、しめひも等に着した粉じん、汗などの汚れは、乾燥した布又は水で軽くしめさせた布で拭いてください。
- 汚れの著しい時はろ過材（又は吸収缶）を取り外し、ろ過材（又は吸収缶）以外の部分を、中性洗剤を少量入れたため湯又は水をスポンジ等で含ませて洗ってください。その場合は十分にすすぎ、陰干しをしてください。
- マスクを除菌用アルコールで拭いた時は、アルコール分が残らないよう十分に陰干ししてください。

 注意	取り外した部分は、もとどおりに正しく取り付け直してください。
--	---------------------------------------

 注意	洗濯機で洗ったり、乾燥機で乾燥させると、マスクが破損する原因になります。
--	---

《ろ過材》

ろ過材T2、X2は、よく乾燥させ、ろ過材上に付着した粉じん等が飛散しない程度に軽くたたいて粉じん等を払い落としてください。
ろ過材R2N、R2、R1はろ過材の目づまりにより息苦しさを感じたり、変形、破損等が認められた場合には、手入れをせずに廃棄し、新しいものと交換してください。

 警告	次に示した方法は、防じんマスクの粒子捕集効率の低下を招くおそれがありますので行わないでください。 1.付着している粉じんを圧縮空気などで吹き飛ばして除去すること。 2.強くたたいたり、たたきつけることにより付着した粉じんを除去すること。
--	--

 警告	ひ素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は、手入れしないでください。 1回使用ごとに廃棄してください。
--	---

 注意	一度使用したろ過材を手入れして再使用する場合は、新品時より粒子捕集効率が低下していないこと及び吸気抵抗が上昇していないことを確認して使用することが必要です。
--	---

ろ過材T2及びX2

水洗再生リターナブルシステムによる再生方法

本品に使用しているろ過材は水洗再生が可能でリユース（再使用）製品として認定されたエコマーク認定商品です。
当社では、「リユース対象製品」と表示のあるろ過材については、有償で、水洗再生（含む性能検査）を実施しています。
概要は、下記のとおりです。
詳しくは、当社営業所までお問い合わせください。
1.水洗再生回数は無制限
性能が低下したろ過材は、当社負担で新品と交換
2.お預かりする数量
ろ過材1種類につき100個以上
3.お預かりできるもの
次の4種類の粒子状物質（粉じん）を捕集したものに限ります。
①ヒューム ②土砂 ③岩石 ④セメント
4.水洗再生をお断りする場合
①ろ過材（ケース、フィルタ）が破損しているもの
②ろ過材に油脂類が付着しているもの
③ひ素、クロム等の有害性が高い粉じん等に対して使用したろ過材



■保管方法

清潔な冷暗所で、乾燥した状態で保管してください。

 注意	積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。
--	--

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、ろ過材又は部品を交換してください。

《ろ過材》

- 収縮、破損若しくは著しい変形等が生じたとき。
- 著しい吸気抵抗の上昇又は粒子捕集効率の低下が認められたとき。

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は粘着性が認められたとき。

《しめひも》

- 弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
- 亀裂、破損等が認められたとき。

《パッキン》

破損、亀裂、著しい変形又は弾力を失ったとき。

■廃棄方法

- 廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）に従って適切に処理してください。
- 使用済みのろ過材は、付着した有害物質等が再飛散しないよう容器又は袋に詰めた状態で廃棄してください。
- 廃棄物処理法で規定している特別管理産業廃棄物を捕集したろ過材は、特別管理産業廃棄物として廃棄物処理法に従って、適切に処理してください。

■オプション部品〔別売〕

最後の**■オプション部品〔別売〕**を参照してください。

防毒マスク TW02

■用途

本品は、有毒ガス若しくは蒸気又はこれらのものと混在する粉じん等から人体を守る目的で使用する直結式小型防毒マスクです。

■使用の範囲

本品は、作業環境中のガスや粉じんの種類に適した吸収缶を取り付けて使用してください。
吸収缶の取扱説明書をよく読み、作業環境に適した吸収缶であることを確認して使用してください。
■使用上の注意事項の**△危険**に示す環境では、絶対に使用しないでください。
本品が使用できるガス又は蒸気の濃度の上限は、次のとおりです。
0.1％【労働安全衛生法による】

■性能

項 目		社内基準値
吸気抵抗	〔Pa〕	20 以下
排気抵抗	〔Pa〕	60 以下
排気弁の作動気密	〔秒〕	15 以上
二酸化炭素濃度上昇値	〔％〕	1.0 以下
重 量	〔g〕	105 以下

※社内基準値は、吸収缶等を取り付けていない時の数値です。

■使用前の点検項目

点検項目
吸気弁、排気弁、しめひも、接顔体等に、破損、亀裂、著しい変形等がないか。
吸気弁、排気弁及び弁座に粉じん等が付着していないか。
吸気弁及び排気弁が弁座に適切に固定され、排気弁の気密性が保たれているか。
吸収缶が適切に取り付けられているか。
吸収缶に水が浸入したり、破損、変形等がないか。
吸収缶から異臭が出ていないか。
ろ過材が分離できる吸収缶の場合、ろ過材が適切に取り付けられているか。
未使用の吸収缶の場合、保存期限を過ぎていないか。また、包装が破損していないか。

 注意	未使用でかつ適正な状態であっても、長期間保管されたものは、吸・排気弁等ゴム部品の劣化等が考えられますので、必ず使用前点検を実施して、不良の部品等を交換するか、使用しないでください。
--	--

■点検内容及び不具合の処置

点検箇所	点検内容	不具合の処置
接顔体	破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか。	新しいマスクと交換してください。
排気弁、吸気弁	弁がめくれていないか。 正しく取り付けであるか。	正しく取り付け直してください。
	汚れ、粉じん等が付着していないか。	汚れを落としてください。
	破損、亀裂、変形、粘着等がないか。 弾力性は十分か。	新しい弁と交換してください。
排気弁座	汚れ、粉じん等が付着していないか。	汚れを落としてください。
	傷や変形等はないか。	新しいマスクと交換してください。
	確実に取り付けられているか。	正しく取り付け直してください。
パッキン	汚れ、粉じん等が付着していないか。	汚れを落としてください。
	破損、亀裂、変形、粘着等がないか。 弾力性は十分か。	新しいパッキンと交換してください。
吸収缶	環境中のガスに適應した吸収缶が取り付けられているか。	適応した吸収缶に交換してください。
	使用時間記録カードの記録と破過曲線図を比較して、有効時間が十分残っているか。	
	孔あき、破損、亀裂、変形、錆、著しい汚れ、水の浸入等がないか。	新しい吸収缶と交換してください。
	保存期限を過ぎていないか。	
	異臭がしないか。	
しめひも	正しく取り付けられているか。	正しく取り付け直してください。
	弾力性は十分か。	新しいしめひもと交換してください。
	破損、亀裂、変形等がないか。	

■取り付けることができる吸収缶〔別売〕

作業環境中に、有害な粒子状物質が存在する場合は防じん機能付き吸収缶を使用してください。
この際、作業環境中の粉じん等の種類、発散状況、作業時のばり露の危険性の程度等を考慮したうえで適切な区分のものをお選びください。
粒子捕集効率が高いほど、粉じん等をよく捕集します。
なお、作業環境中にオイルミスト等が混在する場合は、区分をお選びください。

対応ガスの種類	対応ガスの一例	型式の名称	型式検定 合格番号(1)	フィルタ		指定防護係数(2)	
				種 類	区分	防毒	防じん
有機ガス用	トリクロルエチレン、 トルエン、ベンゼン、 キシレン、 シクロヘキサン	X/OV	TN 478	—	—	10	—
			TN 513	外付けフィルタL3X	L3	10	10
			TN 512	外付けフィルタL2L	L2	10	10
			TN 511	外付けフィルタLL	L1	10	4
			TN 510	外付けフィルタSC	S1	10	4
		XS/OV	TN 501	一体型	S1	10	4
		XL3/OV	TN 515	一体型	L3	10	10
		XPL3/MX(1)	TN 528	一体型	L3	10	10
		T/OV	TN 372	—	—	10	—
			TN 514	外付けフィルタL3X	L3	10	10
			TN 499	外付けフィルタL2L	L2	10	10
			TN 498	外付けフィルタLL	L1	10	4
			TN 497	外付けフィルタSC	S1	10	4
			TS/OV	TN 502	一体型	S1	10
		TP/OV	TN 481	—	—	10	—
			TN 500	外付けフィルタSC	S1	10	4
有機・酸性ガス用	上記の有機ガス 及び塩化水素	T/OV/AG	TN 485	—	—	10	—
有機ガス・ ホルムアルデヒド用	上記の有機ガス 及びホルムアルデヒド	T/FA	TN 487	—	—	10	—
		TN 516	外付けフィルタLL	L1	10	4	
有機ガス・ メタノール用	上記の有機ガス 及びメタノール	T/MA	TN 509	—	—	10	—
ハロゲン・ 酸性ガス用	塩素、臭素、 塩化水素	X/HG/AG	TN 479	—	—	10	—
		T/HG/AG	TN 480	—	—	10	—
アンモニア用	アンモニア	T/AM	TN 517	外付けフィルタSC	S1	10	4
			TN 476	—	—	10	—
亜硫酸ガス・ 硫化水素用	亜硫酸ガス、 硫化水素	T/SO/HS	TN 503	外付けフィルタSC	S1	10	4
			TN 477	—	—	10	—
水銀用	水銀蒸気	T/ME	TN 505	外付けフィルタL2L	L2	10	10
			TN 504	外付けフィルタSC	S1	10	4
エチレンオキシド用	エチレンオキシド	T/EO2	◆	—	—	10	—
			◆	—	—	10	—

注(1) ◆は、JIS適合品を示します。
注(2) 要求防護係数よりも大きい指定防護係数をもつ呼吸保護具を選択してください。
防じん機能付き防毒マスクの粒子状物質に対する指定防護係数は、防じんマスクの指定防護係数を適用してください。
注(3) 「土壌汚染対策法」に挙げられる「特定有害物質」の存在する環境で使用可能です。
その他取り付けることができる吸収缶がありますので、総合カタログを参照してください。

 危険	1.吸収缶は必ず作業環境中のガスの種類に合わせて選択してください。 2.吸収缶は、作業環境中の温度と湿度が、常温・常湿の状態から大きく外れた時は、除毒能力が著しく減退する場合があります。 3.メタノール用としてお使いの吸収缶は、必ず1回使用ごとに廃棄してください。
--	--

■吸収缶の付け方

吸収缶の付け方は **防じんマスク** に記載してある**■ろ過材の付け方**を参照してください。

 注意	吸収缶は湿度の影響を受けますので、新品の場合は、使用する直前まで袋を開封しないでください。
--	---

■装着及び着脱の方法

 注意	新品時や保管後は、一時的に排気弁が弁座に貼り付いている場合があります。 装着前に、排気弁カバーを開け、排気弁の中心部の突起を持ってくるくる回してください。 排気弁が貼り付いていると、一時的に排気抵抗が高くなる場合があります。
--	--

《付け方》

付け方は **防じんマスク** に記載してある《付け方》を参照してください。

 注意	しめひもを強くしめすぎないでください。 密着性が悪くなったり、長時間の作業では不快になりますので注意してください。
--	---

《外し方》

外し方は **防じんマスク** に記載してある《外し方》を参照してください。

■密着性の良否の検査方法

防毒マスク本来の性能を十分に発揮させるためには、密着性が良好でなければなりません。フィットチェッカーを用いて、次に示す手順で着用者自身で密着性の良否の検査を行い、密着性が良好なことを確認したうえで使用してください。

密着性の良否の検査方法は **防じんマスク** に記載してある**■密着性の良否の検査方法**を参照してください。

 警告	1.使用前に密着性の良否の検査を、必ず実施してください。 2.密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止してマスクの着用状態を直してください。それでも密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検してください。 (「点検内容及び不具合の処置」参照) 3.不具合の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼してください。
--	---

■部品の交換方法

部品の交換方法は **防じんマスク** に記載してある**■部品の交換方法**を参照してください。

■手入れの方法

手入れの方法は **防じんマスク** に記載してある**■手入れの方法**を参照してください。

■保管方法

- 清潔な冷暗所で乾燥した状態で保管してください。
- 吸収缶は、マスクと別にして、ポリ袋や缶等に密封し、湿気や外気にさらされないように保管してください。

 注意	積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。
--	--

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、吸収缶又は部品を交換してください。

《吸収缶》

- 打撃を受けたり落としたりして、変形等が生じたとき。
- 有効時間が達したとき。
- 著しい吸気抵抗の上昇が認められたとき。
- 防じん機能付き吸収缶の場合は、著しい吸気抵抗の上昇又は粒子捕集効率の低下が認められたとき。

 警告	使用中にガスの臭気や刺激を感じたときには、直ちに使用を中止してください。
--	--

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は粘着性が認められたとき。

《しめひも》

- 弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
- 亀裂、破損等が認められたとき。

《パッキン》

破損、亀裂、著しい変形又は弾力を失ったとき。

■吸収缶の有効時間の判定

作業環境中のガス濃度を測定して、そのガスについて吸収缶に添付してある破過曲線図から次の方法で有効時間を算定してください。

吸収缶の有効時間はガス濃度によって異なります。
なお、使用経歴が不明な場合は新しい吸収缶と交換してください。ガス濃度は常に一定ではありませんので